



本体コンクリート打設 着々と準備進む

2月末頃にはタワークレーンの組立も完了



※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼ぶ(川の流れる方向 →)

和食ダム本体工事では、ダム堤体河床部の掘削工事、そしてコンクリート打設機械「タワークレーン」の組立工事が進められています。また、今後、本体コンクリートの打設に向けた試験練りを行う予定です。

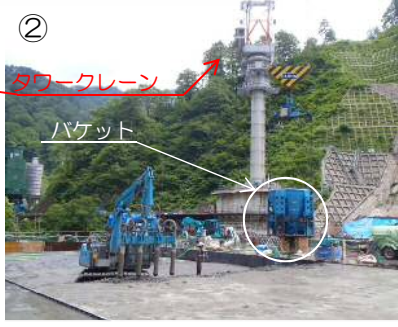
11月の和食ダム便りでもお伝えしましたとおり、12月中旬から大型ダンプトラックが芸西村内を通行しております。ダム本体のコンクリート打設がスタートすると、さらに交通量は増加することになります。今後も交通ルールの遵守、安全対策等には十分配慮していきますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



特集!

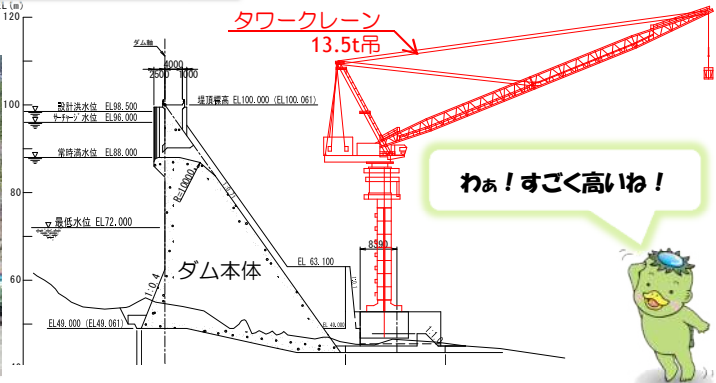
「タワークレーン」

タワークレーンのイメージ (他工事)



コンクリートを載せたバケットを移動

バケットからコンクリートを打設



タワークレーン

和食ダムのコンクリート打設にはタワークレーンと呼ばれる機械を使用します。タワークレーンの最大のメリットは、ダム全体を広くカバーしてコンクリートを打設できることです。その打設方法は、①コンクリートを載せたバケットを移動させ、②バケットからコンクリートを投入(打設)します。(写真参照)

和食ダムで使用するタワークレーンは、半径75mの範囲であれば自由に運搬することができます。また、コンクリート打設のみならず、施工機械や資材の運搬等にも使用していきます。



和食ダムをもっと身近に！

みのりの王国「芸西フェスタ」において、和食ダムブースを開設



和食ダムブース



現場見学ツアー（ダムサイト）



各ブースの状況



現場見学ツアー（仮設備ヤード）



農産物品評会ブース

11月23日、芸西村の憩ヶ丘公園において、みのりの王国「芸西フェスタ」が開催されました。和食ダム建設事務所では「この機会に和食ダムをもっと多くの方々に知ってもらいたい！」との思いから、和食ダムブースを開設。ダムの役割や和食ダムの建設に至る経緯などをパネル形式にて展示させていただきました。

そして、今回の目玉イベントが和食ダムの現場見学ツアー！普段、あまり見られないダム現場とあって、定員を超える数多くの方々に参加していただくことができました。「こりゃ大きいね〜！」「コンクリート打設も観てみたい！」など、和食ダムをより身近に感じていただけた見学ツアーになりました。

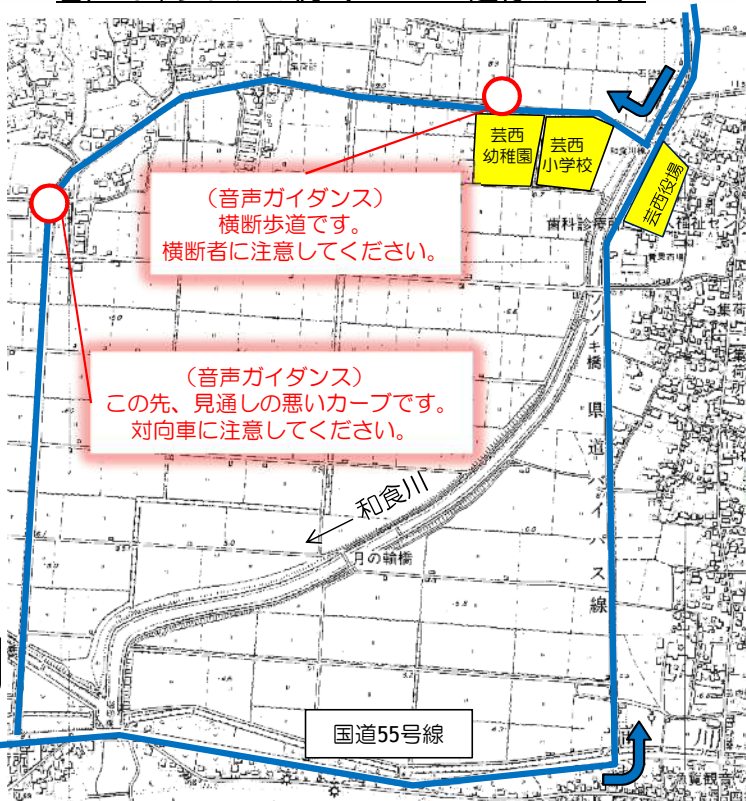


芸西村長あいさつ

本体工事JVの交通安全対策！

ダンプトラック運転者に危険箇所を知らせる「バスマップ」

音声ガイダンスの例（→：運行ルート）



和食ダム本体工事では、交通事故の防止を目的として、骨材を運搬するダンプトラックに「バスマップ」と呼ばれるGPS端末を設置しています。この装置は、横断歩道や見通しの悪い箇所など、道路の危険なポイントに近づくと、音声ガイダンスが流れ、運転手に注意を促してくれます。また、ダンプトラックの位置や運行ルートなどを事務所のモニターで把握する事もでき、芸西村内で止まっているか、連なって運行していないか等の確認もできます。

ダンプトラックの運行ルートには、人家や学校

施設が近接しています。このような装置を活用しながら、今後も安全な骨材運搬に努めていきたいと思ひます。



ダンプトラック内の設置状況

